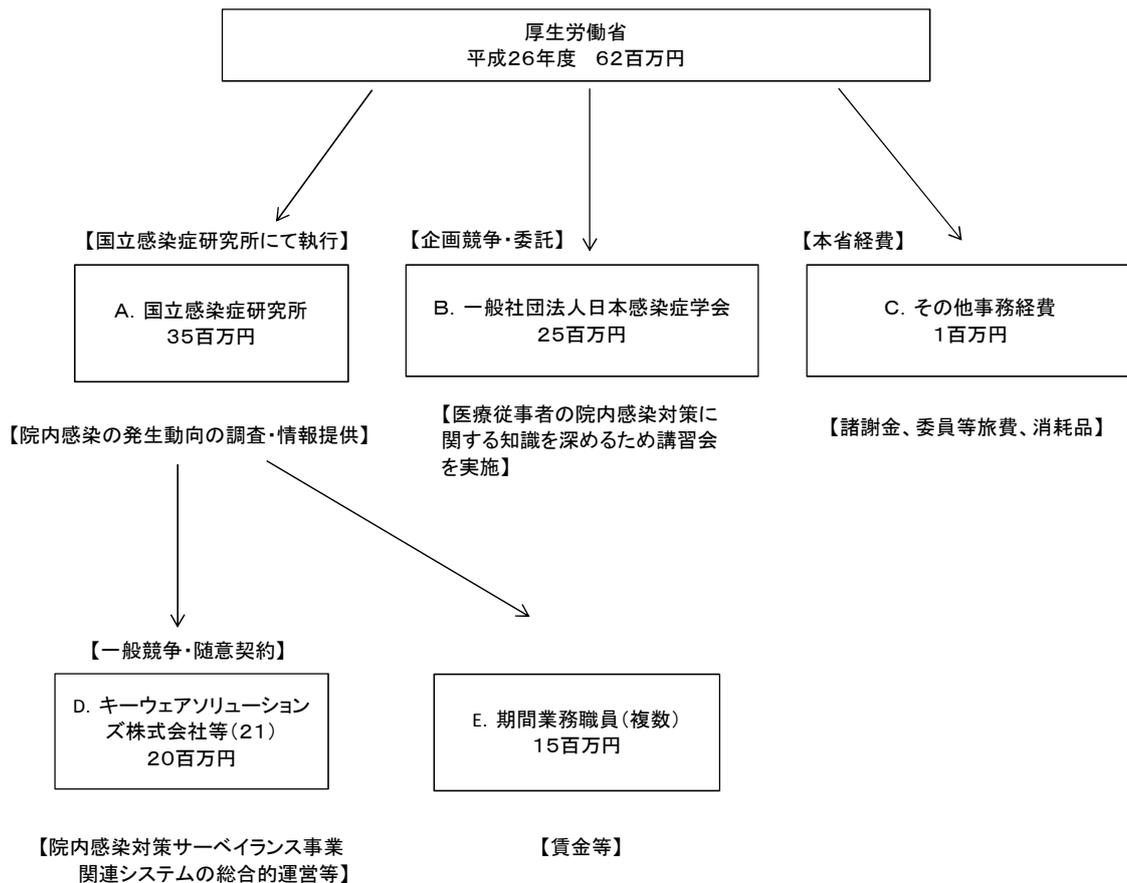


平成27年度行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名		院内感染対策		担当部局庁	医政局			作成責任者
事業開始年度	平成5年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	地域医療計画課			課長：北波 孝
会計区分	一般会計			政策・施策名	I-3-2 医療安全確保対策の推進を図ること			
根拠法令(具体的な条項も記載)	-			関係する計画、通知等	院内感染対策事業実施要綱			
主要政策・施策				主要経費	その他の事項経費			
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	近年、多剤耐性菌、インフルエンザウイルス、ノロウイルスをはじめとした各種の病原体に起因する院内感染の発生や、医療技術の高度化による感染症に対する抵抗力が比較的弱い患者の増加などから、医療機関においては、最新の科学的知見に基づいた適切な院内感染対策の実施が求められているため、院内感染にかかる最新の情報提供や、院内感染対策に関する講習会の実施等により、最新の科学的知見に基づいた適切な知識を伝達することで、わが国における院内感染対策をより一層推進することを目的とする。							
事業概要(5行程度以内。別添可)	○院内感染の発生動向の調査及び情報提供の実施 ○以下の講習会の実施にかかる業務委託等を行う。 ・院内感染対策に関して、地域において指導的立場を担うことが期待される病院等の従事者を対象とした院内感染対策に関する講習会の実施 ・上記医療機関と連携し、各医療機関の院内感染対策の推進を図ることを目的とした講習会の実施 ・高度な医療を提供する特定機能病院等の院内感染対策の推進及び近隣医療機関等への指導助言体制の充実を図ることを目的とした講習会の実施							
実施方法	委託・請負							
予算額・執行額(単位：百万円)	予算の状況	当初予算	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度要求	
		補正予算	-	-	-	-	-	
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-	
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-	
		予備費等	-	-	-	-	-	
		計	69	69	70	69	121	
	執行額	63	61	62				
	執行率(%)	91%	88%	89%				
成果目標及び成果実績(アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度 27年度
	黄色ブドウ球菌におけるメチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)の割合を前年度以下とする。	黄色ブドウ球菌におけるメチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)の割合(平成26年度実績は集計中であるため、平成27年度目標値は平成26年度目標値と同値)	成果実績	%	53	51	-	
			目標値	%	54.6	53	51	51
			達成度	%	103%	104%	-	
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標		単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込	
	院内感染対策講習会参加人数	活動実績	人	2,356	2,337	2,445		
		当初見込み	人	2,400	2,500	2,500	2,500	
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標		単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込	
	院内感染対策サーベイランス事業参加医療機関数	活動実績	施設	1,087	1,301	1,671		
		当初見込み	施設	1,000	1,087	1,301	1,671	
単位当たりコスト	算出根拠		単位	24年度	25年度	26年度	27年度見込	
	院内感染対策講習会執行額/開催会場数	単位当たりコスト	千円	4,080	4,095	3,619	4,231	
		計算式	院内感染対策講習会執行額/開催会場数		28,556/7	28,666/7	25,336/7	29,614/7
平成27・28年度予算内訳(単位：百万円)	費目	27年度当初予算	28年度要求	主な増減理由				
	諸謝金	0	1	院内感染対策サーベイランス事業において、参加医療機関数の増加に応じた人員追加による増。				
	職員旅費	0	0					
	委員等旅費	1	1					
	庁費	0	0					
	医薬品審査等業務庁費	38	90					
	衛生関係指導者養成等委託費	30	29					
計	69	121						

事業所管部局による点検・改善					
項目		評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。		○	毎年新たな感染症が発生するため、広く国民のニーズがあり、国費を投入しなければ事業目的が達成できない。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	毎年新たな感染症が発生するため、広く国民のニーズがあり、民間に委ねることはできない。	
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。		○	院内感染症対策は毎年対策が必要であり、優先度の高い事業である。	
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		△	企画競争方式を採用している	
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-	-	
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。		○	毎年削減に努めており、その水準は妥当である。	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-	-	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	各事業に必要なものに限定されている。	
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		○	アルバイト人数の削減や会場賃借料の節減等により減額となった。	
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか		-	-		
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか		○	成果実績は成果目標を達成している。	
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	人件費、会場賃借料の節減や講師等への連絡を郵送ではなくメールを使用することにより低コストで実施できた。	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○	講習会参加人数は見込みに見合っている。	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○	院内感染対策に有効利用されている。	
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		○	本事業は全国的なサーベイランスデータを基に、院内感染に係る最新の情報提供や、院内感染対策に関する講習会を行うものであるのに対し、類似事業は地域の医療機関が院内感染予防及び院内感染発生時の対応等について相談できる体制を整備するものであり、適切な役割分担を行っていると考えられる。	
	所管府省・部局名	事業番号	事業名		
	厚生労働省医政局	003-9	院内感染地域支援ネットワーク相談事業		
点検・改善結果	点検結果	院内感染対策サーベイランス事業については年々参加医療機関数が増加しており、当事業への参加が診療報酬の加算の要件になるなど、今後も増加が見込まれており、より効率的な事業運営が必要となってくる。この事業は多剤耐性菌のアウトブレイクが問題となった際、国内における多剤耐性菌の分離状況の把握等に有用であるため、サーベイランス事業の精度を向上させるには、参加施設の増加が重要となる。			
	改善の方向性	参加医療機関数の増加は200床未満も対象とすることや、診療報酬の加算の要件とされたことで今後も一定数までの増加は見込まれる。しかしながら、参加医療機関数の増加により、加算目当ての施設もあり、報告されるデータの質も担保する必要があるため、サーベイランスシステムの精度管理を強化しつつ、引き続き適正な執行に努めてまいりたい。			
外部有識者の所見					
点検対象外					
行政事業レビュー推進チームの所見					
現状通り	黄色ブドウ球菌におけるメチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)の割合が減少し、一方、院内感染対策講習会参加人数や院内感染対策サーベイランス事業参加医療機関数は増加しており、一定程度の成果が出ていることから、引き続き必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。				
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
現状通り					
備考					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年度	117	平成23年度	97	平成24年度	74
平成25年度	72	平成26年度	78		

※平成26年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.国立感染症研究所			E.期間業務職員(複数)		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務	院内感染の発生動向の調査・情報提供	35	賃金等	期間業務職員の賃金	15
計		35	計		15
B.一般社団法人日本感染症学会			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	謝金・賃金等	10			
賃借料	会場借料	8			
需用費	印刷製本費、通信運搬費、会議費、消耗品費等	4			
旅費	講師旅費・宿泊費	2			
消費税	消費税	2			
計		26	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.キーウェアソリューションズ株式会社			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務	院内感染対策サーベイランス事業総合的運営及び集計解析/情報還元業務等	14			
計		14	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	国立感染症研究所	院内感染の発生動向の調査・情報提供	35	—	—

B

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	一般社団法人日本感染症学会	医療従事者の院内感染対策に関する知識を深めるため講習会を実施	25	1	—

C

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	委員(複数)	検討会出席	0.8	—	—
2	扶桑速記印刷(株)	議事録作成	0.1	随意契約	—
3	スワンペーパー霞ヶ関売店	会議消耗品販売	0	随意契約	—

D

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	キーウェアソリューションズ株式会社	院内感染対策サーベイランス事業総合的運営及び集計解析/情報還元業務	12	1	99.6%
2	キーウェアソリューションズ株式会社	院内感染対策サーベイランス事業2DCM—webサービス事業運営業務	2	随意契約	—
3	キーウェアソリューションズ株式会社	JANIS SSI部門入力支援ソフト 修正作業	0.6	随意契約	—
4	キーウェアソリューションズ株式会社	JANIS 全入院患者部門入力支援ソフトwin8、Win8. 1動作確認	0.3	随意契約	—
5	キーウェアソリューションズ株式会社	JANIS QAページ対象項目へのリンク追加対応作業	0.1	随意契約	—
6	株式会社チヨダサイエンス	1号館2階206—3 中央実験台解体作業等	0.7	随意契約	—
7	株式会社チヨダサイエンス	消耗品、備品等販売	1	随意契約	—
8	美津野商事(株)	消耗品、備品等販売	1	随意契約	—
9	株式会社 クレコ・ラボ	リライト、コピーライティング作業	0.7	随意契約	—
10	富士ゼロックス(株)	複合機保守等	0.4	随意契約	—
11	堀内電機株式会社	消耗品、備品等販売	0.4	随意契約	—
12	岩井化学薬品株式会社	消耗品販売	0.3	随意契約	—
13	ヤマト運輸株式会社	宅配便	0.2	随意契約	—
14	ユアサバイオシステムズ株式会社	消耗品販売	0.2	随意契約	—
15	(株)池田理化	消耗品、備品等販売	0.1	随意契約	—

E

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	期間業務職員(複数)	期間業務職員の賃金等	15	—	—